

安全データシート

改訂日:2025年8月29日

1. 製品及び会社情報	
化学品の名称(製品名)	5% ふっ化カリウム溶液
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社)
	(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
	(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	05730
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	
健康有害性	急性毒性(経口):区分5
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性):区分3
	水生環境有害性 長期(慢性):区分3
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	飲み込むと有害のおそれ(経口)
	水生生物に有害
	長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き	【安全対策】 環境への放出を避けること。 【応急措置】 気分が悪いときは医師に連絡すること。 【廃棄】 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	ふっ化カリウム溶液
慣用名又は別名	—
化学式又は構造式	KF
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 7789-23-3
成分及び濃度又は濃度範囲	ふっ化カリウム 約5%、水 残り
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	(1)-322 / 公表
その他	HSコード:2826.19
4. 応急措置	
吸入した場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	水と石鹼で洗うこと。
	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。
	眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。
	直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	該当情報なし。
応急処置をする者の保護に必要な注意事項	該当情報なし。
医師に対する特別な注意事項	該当情報なし。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。
使ってはならない消火剤	棒状放水
火災時の特有の危険有害性	不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。
	火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
	アルカリに安定、酸により分解してフッ化水素ガスを発生
	強く加熱される場合、分解が起こり、強い腐食性のフッ化水素が生じる。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取り除く。
	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
	関係者以外の立入りを禁止する。
	密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	おがくず・ウエス・砂などで吸収し、密閉できる空容器に回収すること。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気・全体換気)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱い注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 飲み込まないこと。 容器を密閉して保管すること。
接触回避 衛生対策	『10. 安定性及び反応性』を参照。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管 安全な保管条件	施錠して保管すること。 冷所、換気の良い場所で保管すること。 酸から離しておくこと。
安全な容器包装材料	ポリプロピレン
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	未設定
許容濃度等	
日本産業衛生学会 ACGIH	未設定
濃度基準値	TWA 2.5mg/m ³ (弗素として)
8時間:	未設定
短時間:	未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色澄明
臭い	無臭
融点/凝固点	該当情報なし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし。
可燃性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火点	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	アルカリ性
動粘性率	該当情報なし。
溶解度	該当情報なし。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	該当情報なし。
相対ガス密度	該当情報なし。
粒子特性	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	アルカリに安定、酸により分解してフッ化水素ガスを発生する。 強く加熱される場合、分解が起こり、強い腐食性のフッ化水素が生じる。 水と接触するとき、加水分解が起こり、強いアルカリ性反応で、腐食性の水溶液が生じる。
避けるべき条件	加熱
混触危険物質	酸、水
危険有害な分解生成物	フッ化水素ガス、腐食性の水溶液。
11. 有害性情報	
急性毒性	経口：[ふっ化カリウムとして]ラットLD50=245 mg/kg bw(IUCLID(2000))に基づき、区分3とした。 水溶液は、ガイダンスに従い加算式(ATEmix=100 / ((ふっ化カリウムの濃度 / 245mg/kg)))により分類した。
	経皮：[ふっ化カリウムとして]EU分類はR24であることから、区分2または3相当であると推定されるが、データがないので分類できない。
	吸入(粉塵)：[ふっ化カリウムとして]EU分類はR23であることから、区分2～3相当だが、データがないので分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	該当情報なし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	該当情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器：該当情報なし。 皮膚：該当情報なし。
生殖細胞変異原性	[ふっ化カリウムとして]in vitro変異原性試験：マウスリンフォーマアッセイで陽性、ラット骨髄培養細胞を用いる染色体異常試験で弱い陽性、ヒトリンパ球を用いる染色体異常試験で陰性の報告(NTP DB(Access on Jan. 2009)、ATSDR(2003))がされているが、in vivoのデータがなく『分類できない』とした。
発がん性	該当情報なし。

生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露	該当情報なし。
誤えん有害性	該当情報なし。
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期(急性): [ふっ化カリウムとして]魚類(ソウギョ)による96h-LC50=9.3mg/L (IUCLID 2000)であることから、区分2とした。 水溶液は、ガイダンスに従い加算法(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3 \geq 25%により分類した。
	長期(慢性): [ふっ化カリウムとして]急性毒性区分2であり、無機物であることから急速分解性は無いと判断されることから、区分2とした。 水溶液は、ガイダンスに従い加算法(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3 \geq 25%により分類した。
残留性・分解性	該当情報なし。
生態蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国連番号	3422
品名(国連輸送名)	POTASSIUM FLUORIDE SOLUTION
国連分類	6.1
容器等級	III
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に進行。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。
応急措置指針番号	154
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質 [ふっ化水素の水溶性塩を1%以上含む]
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物[弗素及びその水溶性無機化合物]
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
大気汚染防止法	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質[フッ化物(水溶性無機化合物に限る)]
水質汚濁防止法	有害物質[ふっ素及びその化合物]
土壤汚染対策法	第2種特定有害物質[ふっ素及びその化合物]
16. その他の情報	
引用文献	NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 化学品安全管理データブック(化学工業日報社) 17423の化学商品
その他	記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。